



めぐみだより No.4

令和5年 12月



ひよこぐみ

お楽しみ会の劇では絵本をみんなで何度も楽しみ、はと組さんの考えてくれたストーリーを共有しつつ「この時はどうしようか?」「なんて言おうか?」と、ひよこ組の思いや意欲もプラスしてお話を作っていました。「フラミンゴがいい!」「うさぎになる♡」「リス!」とそれぞれ好きな動物を自分で選び好きなポーズも考えました。また、絵を描いたり色を塗ったりお面を作ったり、「なりきり遊び」から劇が盛り上がっていききました。

保育参観で使っていた絵の具遊びのドアを「お楽しみ会でも使いたい」というアイデアも出たのでお話に登場しました。ドアにひよこ組みんなの顔を貼ると、友だちと自分の顔を指さしながら「みんな一緒のおうちだね♡」と、嬉しそうに会話も弾んでいました。子ども達と楽しんでいる日常の姿を繋げて劇を作りたいという担任の思いもあり、大好きな絵の具遊びで海を作って、そこから「イカ、タコ、魚、カモメ、船」など、好きなものを作って海を表現したり、劇に出てくる野原を野菜スタンプで遊んだ作品で作ったり、クレヨンで描いたり、お花紙をまるめて花を表現してつけたり、自分が興味があるものを自由に楽しみ様々な経験が増えるように支えていきました。

劇の最後に演奏に使っていた楽器も「フルートがいい!」「笛がいい!」と言いながら「この笛は押せるようにしたい!」と、筒に通したストローの動きで本当に演奏しているような表現、面白さにこだわりを持ちながら創意工夫していて、子どもたちの感性や発想力に感心しました。

初めてのお楽しみ会、沢山の観客という普段と違う環境にちょっぴり緊張し、雰囲気味わい見て楽しむ子、ステージ上でなりきって遊ぶ子など様々な姿がみられましたが、その子なりのかかわり方でお楽しみ会までのプロセスを楽しみ経験できたと思います。3学期は、生活習慣の自立に向けて、自分でやろうとする姿を見守り大切にしていきたいです。また、冬ならではの自然に触れ興味を持ち、自然の不思議さから様々な気づき発見を味わえるように考えていきます。



はとぐみ

お楽しみ会に向けて一人ひとりが自分の役割を理解し、お友達と助け合いながら一生懸命練習を頑張る姿があり、一回りも二回りもお兄さんになりました。

劇で使用した「まぐろ」と「いか」は、はと組が作りたいイメージを描いてそれを計画表にして作ったものです。「いかの足って何本だっけ?」「まぐろって赤いやつ?」など、自分のイメージを相手と共有し、会話を楽しみながら絵を描き制作する様子がありました。また、図鑑などで実際の生き物の写真を見た際には、それをじっくり見ながら特徴を捉え、細部まで描く様子もあり観察力の育ちを感じました。お友達の描く様子や担任が描いた絵を見て、自分の絵に足したり同じ色で描こうとする姿もあり、「こういう描き方があるんだな。」と自分と違うやり方を学んでいたようにも感じました。

練習の際には、セリフが思い出せず悩み奮闘する姿もありました。その際には、「間違えても大丈夫であること」を伝え、お友達と協力しながら「自信を持ち楽しむこと」を意識させるよう支援しました。その結果、お楽しみ会当日では、自分のセリフや順番を忘れてしまった時に、お互いに忘れた箇所を教え合い協力する姿がありました。

また、ひよこ組と一緒に練習をしていく中では、「周りを見ながら動かないと。」「はと組(お兄さん)として頑張らないと。」という、良い緊張感もあったように思います。足並みを揃え、周りのペースで進むことの大切さを感じながら、大きく成長できていたように思います。お楽しみ会を通して、役になりきる楽しさ、自己表現をする難しさ、協力して劇や歌を成功させる嬉しさ、周りのお友達を助ける大切さを感じ、園生活の中でも、かっこいい気持ちや優しい気持ちが今後たくさん見られたら良いなと思います。

保護者さまにおかれましては、ご家庭でのお楽しみ会の話作りや子どもたちのサポートありがとうございました。



うさぎぐみ

うさぎ組の劇の題材は「わたしゃほんとに うんがいい」という絵本です。一見、不幸に思えることも、運がいいと捉え、幸せに過ごすという内容です。就学にあたり、様々な困難や不安感と対峙する場面があるかと思います。そんな時、上手に乗り切るための1つの手段とし“しなやかな心”が身に付くといいなという思いで、この絵本を読み聞かせました。読み聞かせ後から、うさぎ組の子たちが何度も読んでいたこの絵本を、劇にしていこうということになりました。自分たちの好きなことを一人ずつ話し、個々の話が7人で結びつくように子どもたちの思いや考えを出してもらい、うさぎ組のオリジナルストーリーが完成しました。自分たちで考えたお話プラス、小さい子でも分かるようにと、絵本より簡単なストーリー展開にしたので、覚えるのも早かったように思います。練習を重ねるごとにお友達のセリフも覚えて、互いに教え合い協力する姿も見られました。普段の生活でも“しなやかな心”で前向きに捉える発言も増え、遊び感覚でラッキー探しを楽しむ様子も見られました。

合奏では、簡単なリズム遊びから始めました。様々な楽器に触れたり、色々なパターンのリズムを感じたり。慣れてくると徐々にリズムを感じるようになってきました。ただ、合奏となるとまた違います。自分は出来ていても『合わせる』ということが大事です。お友達の音をよく聞き、自分が間違えても他のみんなは進んでいくというところに苦戦していました。それでも、練習を繰り返すうちにまとまってきた時の子どもたちの嬉しそうな表情が印象的でした。今回のおたのしみ会を通して、就学に向けての自信の1つになったかなと思います。

3学期は、より就学を意識し、自分たちで生活を進めていけるよう援助していきたいです。今行っているお参りリーダーや、お帳面を返す当番などに加えて、『自分たちで』という意識を持てるよう、園での生活を子どもたちに任せていきたいと考えています。また、1年で1番寒くなる時期です。体調に気を付けながら、寒さを生かした氷作り等、試行錯誤する活動をしていきたいです。